

008 大地形①

- [] : ウェゲナーの大陸移動説を理論的に説明。
大陸プレート…密度が小さく、軽い。 海洋プレート…密度が大きく、重い。
∴ 大陸プレートと海洋プレートがぶつくと、[] プレート] のほうが沈み込む理屈になる。
→この境界に [海溝 海嶺] が形成される理屈になる。
また、海溝とは、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込もうとして形成される地形なのであるから、
海洋プレートは必ず [大陸プレートから遠ざかる 大陸プレートに近づく] 動きを示すはずだと考える。

大陸プレートどうしがぶつくと、ともに []。→この境界には [] が形成される。

■プレートの3つの境界と特徴

- [] 境界 海嶺、地溝を形成。[] 海嶺の延長上にアイスランドがある。
[] 境界 弧状列島、[] 山脈、海溝を形成。地震帯、火山帯と一致。
大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込むタイプの「狭まる境界」では地震も火山もある。日本列島など。
大陸プレートどうしがぶつかるタイプの「狭まる境界」では地震が起こるが火山はない。ヒマラヤ山脈など。
[] 境界 地震は多いが火山は少なめ。カリフォルニアの [] 断層。
∴ 北アメリカ大陸と南アメリカ大陸とを比較すると、火山が多いのは [] 大陸であるはずだ。

■内的営力と外的営力

- [] : 造山運動、造陸運動、火山活動。
[] : 河川による浸食作用、堆積作用。

■大地形

- [] :
先カンブリア時代に形成された。植物プランクトンが多量の酸素を海水に供給したので、
この時代に多量の [] 石が形成された。
[] 造山帯 :
古生代に形成された。その後は浸食されて低くてなだらかな山地となっている。
ロシアの [] 山脈やアメリカ合衆国東部の [] 山脈など。
問題を解く際は、古期造山帯が [] を超えるはずがないと考える。
ただし、[] 山脈は、古期造山帯であるにもかかわらず7000 mを超えてる。

恐竜の古生代は地球温暖化が進み、植物が生い茂った時代。∴ [] が豊富。
日本列島に古期造山帯はない。∴日本で産出される石炭は少なく、その品質は [] と判断できる。

- [] 造山帯 :
中生代から新生代に [] 運動で生じた高くて険しい山脈。
問題を解く際は、標高が [] mを超えていたら [] 造山帯と判定してよい。
新期造山帯の地下資源は [] が集積。
新期造山帯は [] 造山帯と [] 造山帯。両者は [] 付近
で合流。地球上の新期造山帯は、“一筆書き”ができる。地球上の新期造山帯は一本で繋がっている。
古期造山帯は分布に脈絡がない（大陸が移動してしまっているため）。新期か古期か、分布で見当を付けるべし。
日本列島は全部新期造山帯。

- II… [] 造山帯
III… [] 造山帯

広がる境界、狭まる境界を選べ。

